

授 業 科 目 名	情報科指導法Ⅱ(Methodology of Teaching Information as a Senior High School CourseⅡ)		
科 目 番 号	9467001	授 業 形 態	講義
単 位 数	2 単位	標 準 履 修 年 次	2・3 年次
実 施 学 期	夏季休業中	曜 時 限	集中
対象学群・学類			
担当教員(連絡先)	稲垣 俊介		
オフィスアワー			
授業の到達目標	高等学校の情報科では、講義と演習を組み合わせた授業実践が求められる。単なる知識習得だけではなく、また、単なるスキル学習だけでもない、「情報教育」の本質を踏まえた授業実践には何が必要なのか。本授業では既存の授業実践事例の分析と模擬授業演習を通して、情報教育の本質を踏まえた授業実践ができるようになることを目的とする。		
授業の概要	本授業では情報科教育の理論・知識等を踏まえて、授業実践事例分析と模擬授業演習を行う。授業の前半では、文献やインターネット上で公開されている既存の授業実践事例を収集し、それらを多角的に検討する。授業の後半では高等学校情報科の授業について学習指導案を作成し、実際に模擬授業と相互評価を行う。模擬授業は個人または 2 人組で実施し、細部にわたる詳細な検討まで踏み込む。		
授 業 計 画	第1回 情報教育の本質的意義 第2回 情報教育と情報科 第3回 事例分析(1):事例の探し方 第4回 事例分析(2):事例の収集 第5回 事例分析(3):事例の分析 第6回 事例分析(4):事例分析の発表 第7回 情報教育の本質を踏まえた授業とは 第8回 授業開発(1):指導方針の検討 第9回 授業開発(2):単元の検討 第10回 授業開発(3):単元案から本時案へ 第11回 授業開発(4):教材・教具の検討 第12回 授業開発(5):授業のリハーサル 第13回 模擬授業(1):情報社会分野の授業実践 第14回 模擬授業(2):情報社会分野実践の評価 第15回 模擬授業(3):情報社会分野実践の改善 第16回 模擬授業(4):情報科学分野の授業実践 第17回 模擬授業(5):情報科学分野実践の評価 第18回 模擬授業(6):情報科学分野実践の改善 第19回 模擬授業(7):実践全体の評価とまとめ 第20回 これからの学校教育と情報科 定期試験		
成績評価方法	単位取得は十分な出席を前提とする。 授業内課題・討論への参加 20%、レポート 30%、模擬授業 50%(実践 40%、相互評価 10%)を基準として総合的に評価する。		
テ キ ス ト	【必携】文部科学省『高等学校学習指導要領解説 情報編』(最新版) 【必携】久野靖・辰己丈夫監修(2016)『情報科教育法 改訂3版』オーム社 学習指導要領解説は必ず紙媒体(市販書籍を推奨)を準備すること(PDFの併用は可)。 その他、授業時にレジュメ等を配付する。		
参 考 文 献	文部科学省『高等学校学習指導要領』(最新版) その他の参考文献は、授業時に随時紹介する。 高等学校で使用していた情報の教科書を所持している場合は持参すること。		
授業外における学習方法	高等学校における教科「情報」の授業や、それ以外の教科の授業について見学可能な学校を探し、実際に参観することが望ましい。		
受講学生に望むこと			
備 考			